



減災・防災

「松島町の震災復興」



松島町公式YouTubeチャンネル
東日本大震災の伝承
https://youtu.be/z8Sv9qrH8IM

東日本大震災で大きな被害を受けた松島町。その影響と復興への取り組みを学びながら、未来に伝えるべきものや、未来に誇るべきものについて考えてみよう。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、太平洋側の沿岸部は大きな被害を受けました。宮城県沿岸部に位置する松島町も同様に被害を受けましたが、湾内に浮かぶ260余りの島々が自然の防波堤となったことにより、津波の被害は最小限にとどめられたとされています。



打ち上げられた船舶

震災当時、松島町内には国内外から訪れた観光客約1200人が滞在していました。その土地をよく知らない観光客が安全に避難をするには支援が必要となります。地震発生直後、海岸エリアの事業者などが観光客を高台へ誘導し、地元住民も一緒になって避難をしたことで、奇跡的にも人的被害はありませんでした。瑞巖寺や町内の各宿泊施設も避難所として被災者を受け入れ、震災から4日後には全員無事に帰路につくことができました。被災地の復旧・復興作業が本格化すると、町内の宿泊施設を拠点に工事関係者などが各地で作業にあたりました。



震災直後に瑞巖寺へ避難した人々

津波が引いた後、海岸エリアは瓦礫やヘドロで覆われていました。松島町の観光復興が被災地の復興にもつながると、水道などのライフラインが断裂されている中でも、地元の事業者や住民は、全国から駆け付けたボランティアの手助けを受けながら復旧作業にあたりました。そして震災から約1か月後、瑞巖寺と円通院の拝観が再開し、ゴールデンウィーク前には遊覧船の運行も再開され、7月末にはほとんどの事業者が営業を行うことができました。そこには東北を代表する観光地として、全国や世界に東北の元気な姿を見せたいと奮闘する地域の姿がありました。

キーワード

東日本大震災 津波 観光復興
復旧・復興工事 瑞巖寺 遊覧船
地域の協力

代表的な探究スポット

瑞巖寺 (12ページ) 雄島 (14ページ)
震災復興語り部クルーズ (15ページ)
福浦橋 (19ページ)

行程を決めよう



行程を考えるには、右のスポット間の移動時間目安や以下のマップを参考に考えよう。休憩（トイレ、昼食など）をどこで挟むかなど、現地で困らないように組み立てよう。

徒歩での所要時間	瑞巖寺	円通院	五大堂	観瀾亭	遊覧船	雄島	福浦橋
瑞巖寺		1分	5分	5分	4分	15分	10分
円通院	1分		6分	6分	5分	14分	11分
五大堂	5分	6分		3分	2分	12分	5分
観瀾亭	5分	6分	3分		1分	10分	8分
遊覧船	4分	5分	2分	1分		11分	7分
雄島	15分	14分	12分	10分	11分		17分
福浦橋	10分	11分	5分	8分	7分	17分	



出発 時間 :

↓

行先	時間	徒歩	分
_____	: ~ :		

↓

行先	時間	徒歩	分
_____	: ~ :		

↓

行先	時間	徒歩	分
_____	: ~ :		

↓

集合 時間 :